

関係機関長 殿

沖縄県病害虫防除技術センター所長
(公 印 省 略)

病害虫発生予察注意報について

令和 8 年度病害虫発生予察注意報第 1 号を公表したので送付します。

令和 8 年度 病害虫 発生 予察 注意報 第 1 号

- 1 作物名 マンゴー
- 2 害虫名 ハダニ類 (シュレイツメハダニ、マンゴーツメハダニ)
- 3 発生地域 八重山地域
- 4 注意報発令の根拠

石垣島における 4 月中旬のほ場調査の結果、ハダニ類の発生ほ場率は 60% (平年値 : 30.0%)、葉当たり雌成虫数は 4.4 頭 (平年値 0.4 頭) と平年に比べ多発生であった (図 1)。また発生種はシュレイツメハダニ (55%) およびマンゴーツメハダニ (45%) であった。

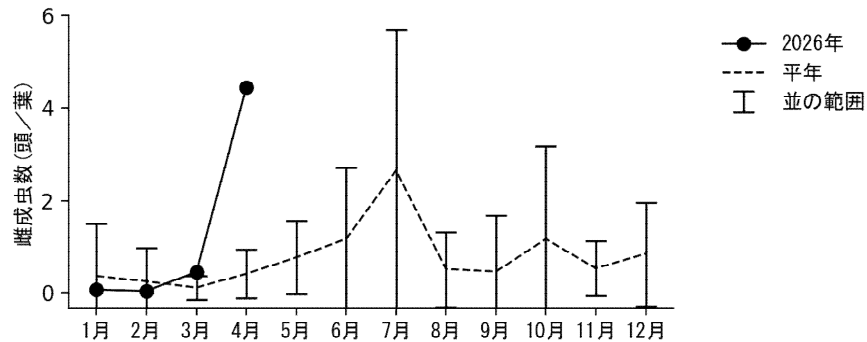


図 1 ハダニ類の発生推移

- 5 発生生態および被害
 - (1) シュレイツメハダニ
 - a 雌成虫は体長 0.6 mm であり、胴体全体が紫がかった赤色を呈す。卵は扁平で色は無色透明～赤色まで変異に富む (図 2)。
 - b 本県では周年発生し、新葉および硬化葉を加害する。
 - c マンゴー以外では、イルカンダ、タイワングズ、デイゴ、ソシンカ等の草本・樹木類に発生する。
 - (2) マンゴーツメハダニ
 - a 雌成虫は体長 0.4 mm であり、胴体前部が鮮やかな赤色、後部は紫がかった暗い赤色を呈す。卵は赤色で卵柄を有する (図 3)。
 - b 本県では周年発生し、主に硬化葉の葉表を加害する。
 - c マンゴー以外にも、チャ、アテモヤ、ゴレンシ、ビワ、レイシ、レンブ等の茶・果樹類、ヤブツバキ、ホルトノキ、モモタマナ、ハンノキ等の樹木類に発生する。

(3) 被害

- a 被害部は、葉がかすり状に白化・退色し、後に褐変して光沢を失う（図4）。
- b 葉の食害が増えると光合成量の低下により樹勢の衰えを招き、収量・品質への影響が懸念される。

6 防除上注意すべき事項

- (1) 側窓、出入口などの開放は必要最小限にする。
- (2) 定期的に葉表を観察し、早期発見に努める。
- (3) かすり状の食害痕を見つけたら登録薬剤による防除を行う。
- (4) 薬剤抵抗性を発達させやすいので、同系統薬剤の連用を避ける。



図2. シュレイツメハダニの雌成虫と卵



図3. マンゴーツメハダニの雌成虫と卵



図4. 被害葉

★詳しくは沖縄県病害虫防除技術センターにお問い合わせ下さい★

TEL : (本所) 098-886-3880、(宮古駐在) 0980-73-2634、(八重山駐在) 0980-82-4933

ホームページアドレス : <https://www.pref.okinawa.jp/shigoto/nogyo/1010700/index.html>

